

今年度の活動

- **みやぎの区民協議会総会**／5月19日(月)
総会後は「市民が録った8ミリ映像昭和の仙台」と題して、8ミリ映像や写真で仙台の昔の街並みを振り返りました。
- **シンポジウム**／7月29日(火)
テーマ
「未来を支える力をつくる～復興のいまとこれから～」
- **第14回みやぎの区民活動表彰式**／7月29日(火)
宮城野区でまちづくり活動に貢献した方・団体を表彰。
- **第24回納涼名刺交換会**／7月29日(火)
お楽しみ抽選会や盛り上がるアトラクションを企画中。
- **第26回みやぎの・まつり**／10月19日(日)
バルーンチャリティ、オークション、木の里親などの復興企画を実施します。
- **地域はっぴい子育てプロジェクト**
／7月2日(水)、7月9日(水)、11月頃
地域で楽しく子育てできるような交流イベントの実施や、ママらいふ手帳を活用したイベントを企画中。
- **第6回みやぎの大縁会**(2月～3月頃)
新しい「つながり」を発見するための気軽なお茶会です。

区民協議会協力事業

伊達政宗公と白萩について

仙台市公園愛護協力会宮城野支部長 池田 友信

私共のミヤギノハギ普及活動の中で、伊達政宗公が白萩を好み、「白萩所望状」を書き大悲願寺(東京都あきる野市)より取り寄せてまで「白萩」を愛されたことには深い訳があり、歴史の表には出てこない事実が新たにわかりました。実弟小次郎は家督相続争いで政宗公に手討ちにされたと伝えられてきましたが、昨春秋に当会が主催した講演会「白萩所望状と小次郎」で、前仙台市博物館長の佐藤憲一氏から、小次郎は実は生き延び、出家して大悲願寺の住職の秀雄となっていたとの研究発表がありました。寺には「陸奥守政宗の舎弟也」と政宗の弟であることを記した記録や、政宗による「白萩所望状」、政宗の死後に「秀雄の兄」として供養した記録も残っています。また佐藤氏は「秀吉との命がけの対面を前に、血縁を絶やす実弟の殺害は考えにくい。伊達家の混乱を防ぐために政宗と母義姫が小次郎をかくまったのではないかと推論されました。

私共はこの事実が、父や弟を手討ちに掛けたという政宗公の人間像が変わるきっかけになればと考え、慶長遣欧400周年のこの時期に皆さまに広く知っていただきたいと考えております。

今後の予定

- 9月6日：記念講演「政宗と白萩」(場所：仙台市博物館)開催(市政だより8月号にて公募)
- 9月中旬：大悲願寺から株分けされた白萩を市役所本庁他に植樹(上記の他、市内各所で報告会を企画。また、植樹後の白萩の管理についてボランティアの募集も検討中)



みやぎの区民協議会だより

NO.21

みやぎの「イイね」と通信

<http://www.miyagino-e.net>

年1回発行

震災の記憶を留め発信する



みやぎの区民協議会
会長 松坂 卓夫

震災から3年が経ち、被災者の住居再建や農業再生など着実に復興が進んでおりますが、私たち宮城野区民が体験した震災の記憶を留めそれを発信していくことも大切だと思います。宮城野区は市の沿岸部から都市部までを含む地理的に多様な区であり、復興の実感は一入ひとり異なります。区民の皆様の様々な思いを汲み上げること、本協議会がまちづくりの中で担う大きな役割と考えています。

当協議会は、「区民一人ひとりの創意と参加により、やすらぎと希望をともに感じる」ことのできる宮

城野区をつくること」を目的に平成元年に設立されました。連合町内会をはじめ、商工・農業・福祉・文化・スポーツなど、区内の様々な団体から構成されており、現在92団体に登録いただいております。

今年度も、各団体からの意見を活かした幅広い視野でのまちづくり活動に取り組んでまいります。そして、区民の皆様の積極的なご参加・ご協力をいただけるようより一層の努力をしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

協賛いただいた企業等芳名 平成25年度 敬称略・五十音順

区民協議会の事業実施のために活用させていただきました。

KIRIN
KINDAI

Sai 株式会社 斎テント

佐々良建設株式会社
SASARYO

JA仙台
仙台農業協同組合

株式会社 高工
TAKAKO

仙台市宮城野区連合町内会長協議会

青葉緑化工業(株) 仙台アスコン(株) (株)行方植物園
サイト工業(株) 仙台いわきライオンズクラブ (株)萩野工務店
(株)サン道路サービス 仙台高砂ライオンズクラブ (株)ユアテック
伸和興業(株) 高砂地区町内会連合会

(株)アーキランド	新宮城野原 JR アパート町内会	社会医療法人康陽会 中嶋病院
(株)秋葉造園	学校法人 清野学園	西山区区町内会連合会
旭化学工業(株)	仙台駅東口商工業協同組合	原町北三町内会
いずみ授産所	仙台市ガス局	パルシティ仙台町内会
岩切地区町内会連合会	(株)仙台銀行	東仙台学区町内会連合会
大垣電機(株)仙台営業所	仙台市建設職組合	東日本技建(株)
奥山工業(株)	協業組合 仙台清掃公社	(株)東日本プラシス
かとう工業(株)	仙台土木建築工業(株)	(株)堀越
有加藤紅萩園	仙台日刊印刷(株)	柊江学区町内会連合会
(株)加納工業所	仙台東地区安全運転管理者会	(株)丸鹿
菊田陶業(株)	仙台東地区安全運転管理者事業主会	三國建設コンサルタント(株)
共立建設(株)東北支店	仙台東地区防犯協会連合会	(株)みぞい
有興洋建設	泰誠機械工業(株)	(株)宮城テレビ放送
(株)サイコー	鷹峯建設(株)	宮城野区老人クラブ連合会
幸町学区町内会連合会	タマヤ電気(株)	宮城野地区更生保護女性会
幸町南学区連合町内会	鶴ヶ谷地区町内会連合会	妙法産業(株)
(株)七十七銀行	有藤伸商事	守屋木材(株)
新田学区連合町内会	(株)東北造園	R45・日の出自動車学校

名義後援：区民の手作りによるまちづくり活動等に対して名義後援を行います。
会員登録：会の目的に賛同し、宮城野区を中心として活動する団体の登録を募集しております。

みやぎの区民協議会事務局
宮城野区役所まちづくり推進課

〒983-8601 仙台市宮城野区五輪2-12-35
Tel 291-2111 (内線 6137・6138)
Fax 291-2371

発行／平成26年7月1日
編集／みやぎの区民協議会広報委員会

この印刷物は、植物性油インキを使用し、環境にやさしい水なし印刷方式を採用しています。

トピックス

～地元学冊子販売中～

自分たちが住む地域をよくするために「歩いて・見て・聞いて・調べて」地域の魅力を再発見していく「地元学」。その活動の記録を冊子にまとめて販売しています。神社の今昔、地名の由来、石碑が立った経緯、今はない駐車場の話、今も続く商屋の話など、生活者の視点から地域を観察した記録が満載です。ぜひ一度、お住まいの地域の冊子を手にとってご覧ください。

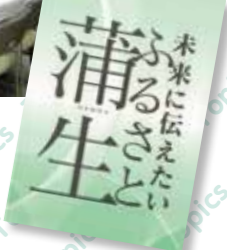


絶版となった冊子をCD化して販売します！

【販売場所】
宮城野区役所まちづくり推進課
宮城野区文化センター／歴史民俗資料館

震災復興地元学

震災でまちの姿が大きく変化・喪失してしまった宮城野区の中野・岡田地区で、震災前の生活風土、自然、建造物等の記憶を記録にとどめるために、市民による「未来に伝えたい中野・岡田の会」を結成し、2013年1月に活動を開始しました。昨年度は、収集した震災前の蒲生の写真をもとに、写真展「ふるさと蒲生」の開催と、冊子「未来に伝えたいふるさと蒲生」の発行を行いました。今年度は岡田地区の冊子の作成とともに、冊子を利用した事業も検討しています。



上記イベントおよびトピックスの内容詳細は、市政だよりやHP「みやぎのイイね」をご覧ください。

会員活動紹介

みやぎの区民協議会の会員の活動状況についてご紹介します

新住民も巻き込んだ地域交流

〈幸町学区区内会連合会〉

幸町は、歴史ある仙台市の中でも比較的新しい街です。当町内会連合会が発足した昭和五十年当時は、住宅もまばらで小規模な商店が点在する程度でしたが、近年大型ショッピングセンターが店舗し、それに合わせるようにマンションが建ち並び、街の様相は一変しました。永く居住している方と新しく住まれた方が同居しているそんな居住環境にあります。

当町内会連合会の大きな行事は、学区民と小学校が一堂に会して行う「学区民合同大運動会」です。今回で十三回目を数えます。東日本大震災の時には、『絆』を大事にしようという年代別にバトンを繋ぐ競技を取り入れ、『絆』の大切さを再確認したところでもあります。また、二十年続いた「幸町サマーフェスティバル」も一昨年でピリオドを打ちました。しかし、再開要望の声が多く寄せられ、今夏の復活に向けて目下準備中です。今、幸町は学区民一人ひとりが力を合わせて「笑顔溢れる街」づくりを目指しています。



地域を盛り上げる仕掛け人

〈高砂商工振興会〉

様々なイベントを通して、地元の結束を高めていく。イベントを経験した子供たちが大きくなって、またイベントに協力する。子供たちが、お父さんお母さんが、お年寄りが、商店主が、学校の先生が、行政を司る人達が、皆一体となって盛り上げ、愉しむ。ゆるキャラ「たっぺーくん」でおなじみの「高砂商工振興会」は、様々なイベントの「仕掛け人」なんです。

メインイベントは何といても「中野栄フリーマーケット」です。毎年1万人を超える入場者が集まって、買い物に、ステージイベントに、大いに盛り上がりです。大型バスを借り切って温泉を巡る「バスツアー」は毎年募集人数を大きく上回る人気のイベントです。夏休みの最後の思い出となる「中野栄夏まつり」は、浴衣姿の人達が盆踊り、生ビール、そして打ち上げ花火で大いに盛り上がりです。

これだけのイベントを行う原動力、それは「地元愛」なんです。高砂・中野栄が好きだから、一緒になって盛り上げる。子供の頃楽しませてもらったから、大人になって子供たちを楽しませる。そんな人達の集まりである「高砂商工振興会」のイベントに、ぜひ足をお運びください。



地域福祉の一助を目指して

〈NPO法人アミューズおひさま〉

私たちは13年前に市民団体「おひさまキッズ」を立ち上げ、身近な地域の子育て支援活動を始め、託児室・子育てサロン・イベント・相談室を行っています。

少人数で家庭的な託児は、それぞれの子供に合った過ごし方で母親にも安心感を与え、お迎えの後にちょっとした子育て相談をしていく方もいらっしゃいます。第一子0歳児限定のサロンは、母親になって初めての集いの場を提供し、お友達作りや子育ての学び、育児ストレスケアを行っています。

三年前には法人格を取得し、活動の幅を広げて、被災者・高齢者への支援活動も行うようになりました。地域の関係機関にご協力いただき、プレハブ仮設住宅やみなし仮設にお住いの被災者、高齢者の集いの場を企画しております。懐かしの昭和歌謡で行う軽運動や脳トレゲーム、歌唱など、笑顔あふれる楽しい内容です。

これからも生活の延長上にある身近な関わりを行い、地域福祉の一助となれるような活動をしてまいります。



歴史が残る閑静な地区

〈宮城野地区町内会連合会〉

宮城野地区町内会連合会は、仙台市の東部に位置し、14町内会・自治会で構成されています。世帯数は4,950世帯であります。

連合会定例会を、地域内唯一の集会所である宮城野コミュニティセンターを使用して、奇数月に開催しており、情報や意見の交換を行っています。環境は住宅地が殆どで、閑静で過ごし易い土地ですが、お祭りの少ない地でもあります。周辺には陸上自衛隊仙台駐屯地や卸商センターがあり、折にふれて催し物の案内があって楽しめます。宮城野八幡神社や姥神社の例大祭も結構賑やかに斎行されています。また、無数の気根(乳)が垂れ下がり、樹齢約1,200年とされる雌株の乳銀杏の名木が天然記念物に指定されています。

宮城野は歌枕の宝庫として古今集にも数多くの歌が詠まれており、平安時代のころから都の人々のあこがれの地でもあったようです。宮城野の萩が京に運ばれ、陰ながら時の帝も見物されたと文献に残っているようです。

そのほか、地区内には公園が多くある中で、南宮城野公園内には鈴虫塚があって、土壇の上に毛氈(もうせん)を敷き伊達家のお姫さま方が弁当を食べ、茶の湯を楽しんだとされています。

宮千代児童公園には宮千代の碑があって由緒書きに詳しく説明されており地名にもなっています。



▲南宮城野公園

昨年度の活動報告

～みやぎのイーネット通信～ <http://www.miyagino-e.net>

～みやぎのイーネット通信～

<http://www.miyagino-e.net>

～みやぎのイーネット通信～

<http://www.miyagino-e.net>

～みやぎのイーネット通信～

<http://www.miyagino-e.net>

平成25年度講演会

「復興へ一歩の実感」をテーマに、キリンビール仙台工場の横田乃里也さん、NPO法人イコールネット仙台の宗片恵美子さん、NPO法人20世紀アーカイブ仙台の佐藤正実さんから、おのおのの取り組みをお話いただきました。(8/1実施)



第23回納涼名刺交換会

区内の団体や企業の方々が親交を深める本会は、今回も参加者が400名を超え盛大に行われました。和太鼓ユニット「Atoa」(アトア)による荘厳な演奏、協賛品によるお楽しみ大抽選会などで大いに賑わいました。(8/1実施)



第13回みやぎの区民活動表彰

区のまちづくりに多大な貢献があった方々を表彰。昨年は納涼名刺交換会の会場で表彰し、参加された多くの皆さんで表彰者をお祝いしました。(8/1実施)

個人の部: 伊藤範子さん/菊池きぬみさん/小林康司さん/今野重美さん/桜井志郎さん/庄司福男さん/中野忠彦さん/嶺岸善信さん

団体の部: 上岡田クラブ/栄一丁目町内会衛生部/福住婦人コスモス部/杜の都の伊達男組

地域はっぴい子育てプロジェクト

育児による親の孤立を防止する事業。ママらいふ手帳&マップを新生児訪問時に配布するほか、子育ての中で自分を見つめ直す「ママらいふ手帳講座」、マッサージや読み聞かせで親子がふれあう「親子・あったかフェスタ2013」を開催しました。(9/5、9/12、11/7 実施)



第25回みやぎの・まつり

今回は雨天にも関わらず約30,000人が来場。市民団体や町内会・子供会の発表のほか、ねこバス、バルーンチャリティ、県内沿岸市町村による復興市、木の里親などを実施。まつりを通して地域に目を向けるきっかけとなりました。(10/20実施)



第5回みやぎの大縁会

分野を越えた区民が懇談する「みやぎの大縁会」。今回は震災以降に人のつながりに支えられた経験から、つながりを広げるために何が必要かについて話し合い、参加者それぞれが新たな気づきを得られた会となりました。(3/1実施)

